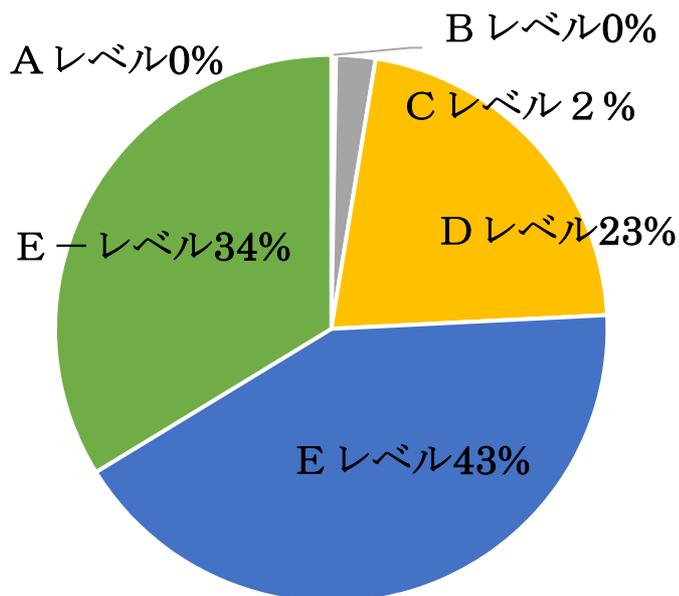


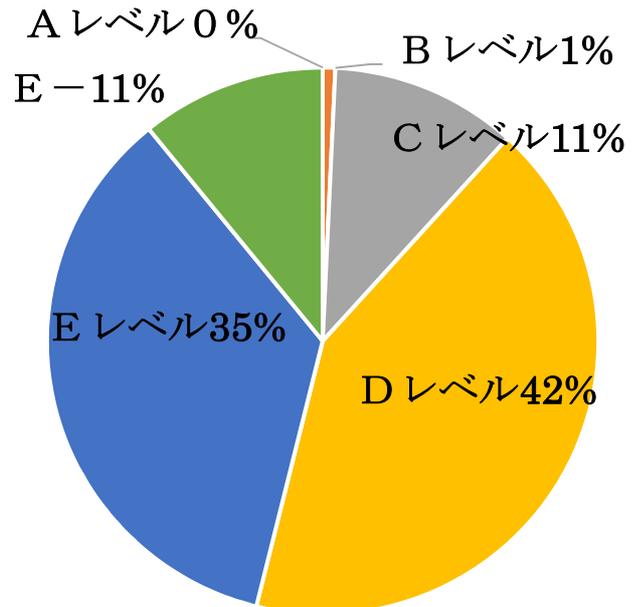
あじけん流日本語授業

～会話テストデータから見える日本語指導の成果と課題～

会話テスト I 判定結果
(講習開始時実施)



会話テスト II 判定結果
(講習修了時実施)



今月は、今年1年間（1月～10月末まで）の会話テストの結果を集計したデータをご紹介します。上のグラフから、講習開始時に実施している会話テストでは、実習生の約8割（77%）のがEレベル（ゆっくり話された基本的な内容の質問であれば何とか応じることが出来るレベル）、もしくはEレベルにも満たないE-（イー・マイナス）レベルの判定を受けていることが分かります。そして、講習修了時の会話テストでは、その割合が約5割（46%）にまで減り、Dレベル・Cレベル・Bレベルの割合がそれぞれ42%、11%、1%にアップしていることが分かります。このように全体的には、実習生の皆さんの努力の成果が見て取れます。しかし、個々の実習生の会話力を見ると、全体の46%の実習生が、Eレベル以下、つまり、ゆっくり話された基本的な内容の質問にしか応じることが出来ないか、それすらも出来ないレベルのまま、技能実習を開始していることとなります。本校では、Dレベル（基本的な内容の指示や質問であれば、自然な速度の日本語で問い掛けられてもスムーズに応じることが出来るとされるレベル）を、技能実習を安全かつ円滑に行うために最低限必要な会話レベルと位置づけておりますので、これからも、1人でも多くの実習生がDレベル以上の会話力を身に付け、技能実習をスタートできるように、日本語講師・スタッフ一丸となって、全力投球で、実習生の皆さんの日本語学習をサポートしていきたいと思ひます。

※なお、来日前の日本語学習期間が1年～2年半と長期間のホテル実習生と、企業単独型の特別カリキュラムで講習を行なっている実習生のデータは、基礎データに含まれておりません。

※当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます

